



## —「コミュニティ ZEH によるレジリエンス強化」の分譲地—

# “共助”を強化した「スマートハイムシティ水汲 North」の販売を開始

■国が推進するコミュニティ ZEH を取り入れ、地域の防災拠点として機能

■「共助」の考えを取り入れ、住民同士が助け合える街

2020 年 11 月 20 日

セキスイハイム信越株式会社

セキスイハイム信越株式会社（代表取締役社長：石原範久、所在地：長野県松本市）は、国のコミュニティ ZEH の推進を受けて、コミュニティ ZEH の考えを取り入れ<sup>※1</sup>レジリエンスを強化した分譲地『スマートハイムシティ水汲 North』（3-9、3-10、3-11 区画）の販売を 11 月 20 日（金）より開始いたします。

災害発生時にも住民同士でスムーズな対応が行えるよう、『スマートハイムシティ水汲 North』では「共助」の考え方を取り入れています。CO<sub>2</sub> 排出量削減などにより環境負荷軽減に資するだけでなく、防災拠点となる分譲地を発売し、地域社会へ貢献します。

### 『スマートハイムシティ水汲 North』の特長

#### ■国が推進するコミュニティ ZEH を取り入れ、地域の防災拠点として機能

国は災害の激甚化・頻発化を背景に、今年から「コミュニティ ZEH によるレジリエンス強化事業（令和元年度補正予算）」において、停電時でも自立的に電力の供給が可能な ZEH を活用した地域防災拠点の整備を促進し、自然災害等に伴う長期停電リスクを軽減可能な住宅モデルを推進しています。地域コミュニティにおいて太陽光発電システム（以下「PV」）や蓄電システムを搭載した ZEH+や ZEH+R を満たす住宅<sup>※2</sup>の余剰電力<sup>※3</sup>を、停電時<sup>※4</sup>に広く地域住民に提供し、地域住民はその電力で電気機器の充電等ができます。ZEH+や ZEH+R を多数建築する当社はこの考えに共感し、コミュニティ ZEH の考えを取り入れた『スマートハイムシティ水汲 North』の展開を開始いたします。

#### ■「共助」の考えを取り入れ、住民同士が助け合える街

『スマートハイムシティ水汲 North』では全戸に PV と HEMS を搭載し、蓄電システムの採用を推奨しています。各世帯で停電時でも電気が使用<sup>※4</sup>できれば、万が一の災害でも普段に近い生活を続ける事が可能となります。各世帯の災害対策にプラスして、地域住民同士で支え合う「共助」の考え方を取り入れ、停電時の円滑な電力供給はもちろんのこと地域コミュニティの形成もサポートします。

#### ■『スマートハイムシティ水汲 North』の概要

名 称：スマートハイムシティ水汲 North

所 在 地：長野県松本市大字原 4 番 32 他

総区画図：71 区画（今回分譲住宅販売区画：3 区画）

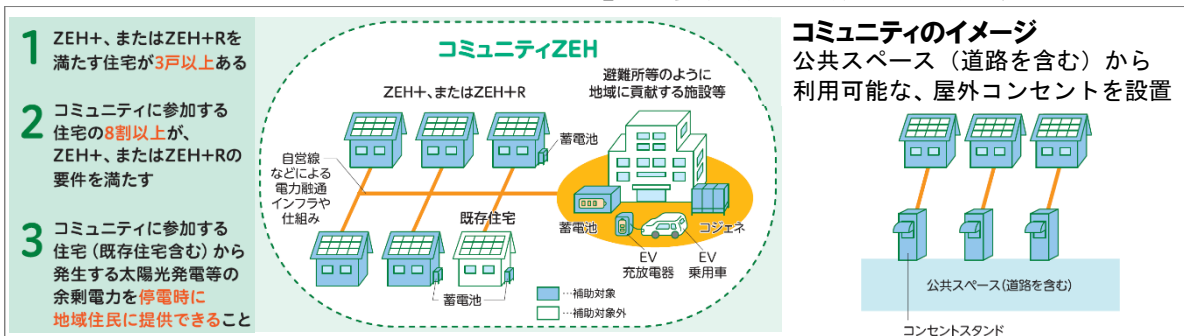
## 『スマートハイムシティ水汲 North』発売の背景

近年多発している自然災害への備えとして、各家庭での対策だけではなく地域住民同士で支えあう「共助」が改めて注目されています。災害が発生した際にも住民同士でスムーズな対応が行えるよう、『スマートハイムシティ水汲 North』では「共助」の考え方を取り入れています。日頃から停電時に利用可能な電気機器や時間帯などを近隣住民へ情報共有することで、停電時の円滑な電力提供はもちろんのこと、住民同士のコミュニケーションを促し地域コミュニティの形成もサポートします。

『スマートハイムシティ水汲 North』の販売により、コミュニティ ZEH を推進することで CO<sub>2</sub> 排出量削減などにより環境負荷軽減に供するだけでなく、防災拠点として地域社会へのさらなる貢献を目指します。また、SDGs に掲げられている「エネルギーをみんなに そしてクリーンに」「住み続けられるまちづくりを」「気候変動に具体的な対策を」の目標実現にも寄与します。



## ◆「コミュニティ ZEH によるレジリエンス強化事業」の概要(出典:一般社団法人環境共創イニシアチブ)



## 『スマートハイムシティ水汲 North』の特長

『スマートハイムシティ水汲 North』は楽都まつもとの象徴・キッセイ文化ホールや総合体育館、静謐な森を擁する護國神社が建ちならぶ「こまくさ道路」の東端に位置します。また、生活圏内に文教施設をはじめ、商業施設や銀行、郵便局、医療機関など暮らしを支える利便施設が充実した住みやすい環境です。

『スマートハイムシティ水汲 North』では、災害に強い街づくりを目指し、ほとんどの住戸<sup>※5</sup>に PV と HEMS を搭載し、さらに蓄電システムの採用を推奨しています。近年は地震だけでなく、台風による停電も頻発しています。各世帯で停電時でも電気が使用<sup>※4</sup> できれば、そのような災害時でも普段に近い生活を続ける事が可能となり、自宅で過ごすことができます。

自身と家族の安全が確保できた後は、地域の人々を助ける「共助」が必要となります。『スマートハイムシティ水汲 North』では「共助」の考え方を取り入れ、屋外コンセントを設置し、停電時に PV で発電した余剰電気を地域住民へ供給し、電気機器の充電等に活用していただくことを可能にしています。

## 『スマートハイムシティ水汲 North』の外観イメージパース



- ※1：「コミュニティ ZEH によるレジリエンス強化事業」の交付決定を受けております。
- ※2：「コミュニティ ZEH によるレジリエンス強化事業」の要件を満たした住宅を指します。
- ※3：使用方法によっては余剰が発生しない場合があります。
- ※4：停電時に利用できる家電機器は限られます。利用できる時間は実際に利用する家電機器、天候等による発電状況により異なります。また事前に計画したコンセント・スイッチでのみ電力が使用可能です。
- ※5：『スマートハイムシティ水汲 North』内 97.6%の住戸が PV と HMES を搭載

### 《セキスイハイム信越株式会社 会社概要》

- ◎設 立：1975 年 4 月
- ◎資 本 金：3 億円（積水化学工業株式会社 100%出資）
- ◎代 表 者：代表取締役社長 石原 範久（いしはら のりひさ）
- ◎売 上 高：243 億 7,048 万円（2019 年度グループ連結実績）
- ◎従 業 員 数：397 名（2020 年 10 月現在、グループ従業員数）
- ◎事 業 内 容：住宅の新築・建て替え・インテリア・外構工事を通じた住まいづくり、暮らしづくりと、土地開発による街づくりの総合住宅メーカー
- ◎事 業 所：本社、東北信支店、中南信支店、新潟支店
- ◎展 示 場：長野県内 12 拠点、新潟県内 6 拠点（2020 年 10 月末時点）
- ◎グループ会社：セキスイファミエス信越株式会社
- ◎本社所在地：〒390-0848 長野県松本市両島 6 番 11 号

この件に関するお問い合わせは下記までお願いします。

■セキスイハイム信越株式会社 不動産部 中村太吉 TEL：0263-28-8301  
〒390-0848 長野県松本市両島 6 番 11 号